学校番号	１０８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	新編　文学国語　（大修館書店）						
副教材等	新訂版　常用国語便覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代の文学作品に触れつつ、文学作品を味わうために必要なさまざまな知識を身につけ、文学の楽しさを学んでいきます。
・授業中は、板書を書き写すだけではなく主体的に思考したり表現したりしましょう。ノートには、授業のポイントや自身で気付いたこと、先生やクラスメイトの発言した内容なども記入しましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持とうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	小説を楽しむ㈠ ［教材］ ナイン	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[書]：読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫すること。 c：表現に着目しながら登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、心情の変化を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート 提出物
	小説を味わう ［教材］ 山椒魚	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：表現に着目しながら登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、心情の変化を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート 提出物
	小説を楽しむ㈡ ［教材］ 晴れた空の下で	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫すること。 c：表現に着目しながら登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、心情の変化を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート 提出物
	名作を読む㈠ ［教材］ 山月記	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：表現に着目しながら登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、心情の変化を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート 提出物
	名作を読む㈡ ［教材］ こころ	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解を深め使用している。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情を粘り強く読み解こうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート 提出物

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間